

自然豊かな丹沢の棚田に 16 の現代アートが展開します

阿部 佳明

東京造形大学卒業
文化庁新進芸術家海外留学制度 ドイツ
デュッセルドルフ
現代日本美術展
岡本太郎記念現代芸術大賞展
20 世紀。美術は虚像を認知した 平塚美術館
横須賀美術館 準備企画「境界の風景」展 他
ギャラリーなつか
INAX ガラリー2
ギャラリーひらわた 他



石川 雷太

TSA / 東京芸術専門学校卒業
ノイズユニット「Erehwon」主宰
密教系芸術集団「混沌の首」共同主宰
BIWAKO ビエンナーレ
大地の芸術祭・ギャラリー湯山
土方巽・中西夏之メモリアル猿橋倉庫
井戸尻考古館・富士見町歴史民俗資料館
300 日画廊、paraborica bis
東京日仏学院、イスラエル美術館
森美術館、府中市美術館、他展示多数



石黒 和夫

多摩美術大学彫刻科卒業
多摩美術大学大学院修了
個展多数開催
「分・度・器」宮下公園、有栖川公園、法政大学
(東京)
「絵画と彫刻と Part 2」スペース遊 (東京)
「五目御殿」世田谷美術館 (東京)
「原風景 III」東京都美術館 (東京)
「2 1」京二画廊 (東京)
「五目御殿 Part 2」世田谷美術館 (東京)
「××SQUARE」ルナミ画廊 (東京)



市川 平

武蔵野美術大学大学院修了
現代的なモチーフを選び、彫刻に様々な素材や
要素を取り入れ、SF 的な物語性を感じさせる作
品群を制作。
2016 年より元彫刻家の特殊照明作家として、多
数のコラボレーションワークを実現。
「市川平セルフコラボ展」(発電所美術館)
「岡本太郎美術館 20 周年記念展」(川崎市岡本太
郎美術館)
<https://m.facebook.com/taira.ichikawa>



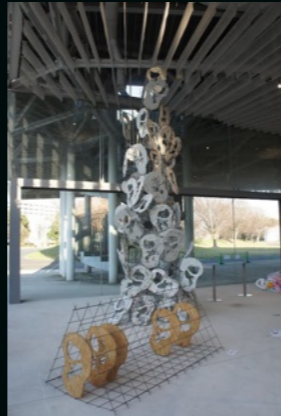
笠谷 耕二

イタリアフィレンツェにて美術留学、
主に陶芸技術を学ぶと同時に作家活動
を始める。
日本に帰国後バナナをモチーフとした
作品を数多く制作して「バナナアー
ティスト」として定着、国内外にて作品
を発表しています。



かとう かずみ

愛知県立芸術大学大学院美術学部修了
インド旅行をきっかけに世界各国を訪巡
・旅行・観学。旅先にて作品を制作し自
分宛に郵送する現場制作」を始める。
1981 ~ 2026 グループ展多数
1987 ~ 2025 かとうかずみ個展 30 回
耳を題材にした 彫刻、立体は、聞くこと
・聞こえる・意味など、多大化した情報
化社会の中で混沌模索する自身を表現し
ている。



栗原 勉

多摩美術大学大学院修了
1996 年個展：「ル・デコ」
他 8 回
2025 年グループ展：「緑と道
の美術展 in 黒川」 他 27 回



芝田 知明

大分県別府市出身
第 53 回大分県美術展での受賞
ラグビーワールドカップ開催記
念モニュメント製作
第 75 回記念二紀展奨励賞受賞
第 76 回二紀展準会員推挙
第 77 回二紀展準会員優賞受賞
年第 78 回二紀展準会員賞受賞
瀬戸内国際芸術祭初出展
第 53 回大分県美術展での受賞



清水 雄一

東海大学教養学部芸術学科美術学過程卒
メキシコ国際彫刻シンポジウム / チアパス州
第 6 回 東京野外現代彫刻展 / 都立砧公園、世
田谷美術館
第 28,29 回 現代日本美術展 / 東京都美術館、
京都市美術館
「土のこどもプロジェクト・土のこどもの旅」
を関東の神社、仏閣、美術館などで展開
「縄文コンテンポラリー展 in 船橋」 / 船橋市飛
ノ台 史跡公園博物館
現代アーティストセンター展 / 東京都美
「原発 NON !!」展 / 東京 ポルトリブレ
「Magneticfield 領域の展開」二人展 / 神奈川
「百笑の台所」ギャラリー
「交錯する意識」展 / 神奈川 丹沢美術館、
東京 ポルトリブレ
Les points et un point 展 vol.11 ~ 立体の作家
たち / 東京 K's Gallery



田中 太賀志

九州産業大学芸術学部美術科卒
横浜国立大学人間科学部専攻科卒
ドイツ留学 ミュンヘン美術大学聴講
現代日本美術展
神奈川アートアニュアル展
琵琶湖ビエンナーレ展
個展多数



ヒラタ ヒロヒコ

新潟大学大学院教育学研究科美術教育
専修修了
装置的でインタラクティブな立体作品
の制作を主に行なっている。
最近風を利用した作品に興味を持ち、
地元の海岸でインスタレーションを展
開した。主に東京、新潟のギャラリー
で作品を発表している。



三木 サチコ

東京造形大学 (彫刻) 研究生修了
主な個展に
「Blowing7The Wind」(VINS Gallery、台北、2025)
「星の種を蒔く人々」(ギャラリー椿、東京、2024)、
「Overcoming」(ギャラリー椿、東京、2022)、「TWINS?」
(ギャラリー椿、東京、2020)、「境界域 -Boundary zone-」
(CASHI、東京、2017)、「TheVisitor」(Transmission Gallery、
カリフォルニア、2017)、グループ展に「国際芸術祭
BIWAKO BIENNALE 2025 - 流転 -FLUX-」(近江八幡市内、
滋賀、2025)、「国際芸術祭 BIWAKO BIENNALE 2022
- 起源 -origin-」(近江八幡市内・彦根市内、滋賀、2022)、
「第 5 回日米国際作家交流展 -Crosscurrent-」(東京都美
術館、東京、2019)、アーティストインレジデンスで、
SECRET ROOMS (フィンランド、2023)、「Fresh Winds#6」
(アイスランド、2020) など。

宮澤 泉

多摩美術大学大学院美術研究科修了
川崎国際彫刻シンポジウム / 川崎市
相模原野外彫刻展 / 神奈川県
筑波国際環境シンポジウム / 茨城
個展 ギャラリー山口 / 東京
雨引の里と彫刻 / 茨城県桜川市
緑と道の美術展 in 黒川、川崎市
旭川彫刻フェスタ 20 周年記念展
旭川市彫刻美術館
ギャラリー誠文堂 20 周年記念展
設置モニュメント：川崎市早野聖地公園
麻生区新ゆりアートパーク
川崎市生田緑地北海道川市忠別川公園



母袋 俊也

風景・窓・絵画 母袋俊也の試み 埼玉県
立近代美術館 (常設展特別展示)
「母袋俊也 < 絵画のための見晴らし小屋
> 水平性の絵画 <TA> の流れ」辰野美術館
母袋俊也 世界の切り取り方ー縦長か横長
かそれが問題だ」青梅市立美術館
「母袋俊也 絵画《TA・KO MO RO》-《仮構
・絵画のための見晴らし小屋 KOMORO》
市立小諸高原美術館 / 長野
「母袋俊也 Koiga-Kubo 1993/2017 そして
(Qf) 奈義町現代美術館 / 岡山
「母袋俊也 浮かぶ像ー絵画の位置」東京
造形大学附属美術館



横山 徹

金沢美術工芸大学彫刻科卒業
二紀安田火災財団奨励賞受賞
大宮野外彫刻展 / 埼玉
米子彫刻シンポジウム / 鳥取
横浜彫刻展 (横浜彫刻ビエンナーレ '93)
横浜市長賞受賞 / 神奈川
第 3 回ラトビア国際芸術シンポジウム
第 56 回二紀展文部科学大臣奨励賞受賞
おおね公園スポーツとレクリエーション
彫刻コンクール入賞 / 神奈川
那須野が原国際彫刻シンポジウム / 栃木
十日町石彫シンポジウム / 新潟



吉川 陽一郎

鹿児島生まれ。宮崎県都城市、
横浜市金沢区で育つ。
多摩美術大学彫刻学科卒。
映像の特殊効果、美術大学非常勤講師、
社会福祉法人非常勤職員をしながら個展
・グループ展では、鉄や木を使った立体
作品、身体と道具を使ったアクションに
よる表現を発表する。
他に、「フィールドワーク・イン藤野」、
神奈川県相模原市
「森ラボ 横浜の森美術館」 横浜・中山
神奈川県立近代美術館彫刻作品収蔵される。

